



Release

フランクフルト・アム・マイン

2024年9月5日

ドイツ銀行、ポストバンク買収に関する原告エフェクテン・シュピーゲル AG との長期にわたる訴訟で和解

ドイツ銀行（銘柄コード XETRA:DBKGn. DE/NYSE:DB）は、ポストバンクの買収に関して長期にわたって継続していた訴訟において、原告であるエフェクテン・シュピーゲル AG と和解しました。エフェクテン・シュピーゲル AG が提起した訴訟は、ポストバンクの買収に関連してケルン高等裁判所において審理されている 2 件の訴訟のうちの 1 件です。

本和解には、当行が提案した、当時の株式公開買付けの提示価格に対して 1 株当たり 36.50 ユーロの追加の支払い（利息を含みます。）が含まれます。エフェクテン・シュピーゲル AG は、連邦裁判所への 2 回の上告を含むすべての審級において、原告の代表として訴訟を進行しました。本件訴訟において原告が務めた特定の役割を踏まえ、長期にわたる訴訟に係る費用を考慮した費用の償還も合意されました。

エフェクテン・シュピーゲル AG は、2010 年 10 月に当時のポストバンクの株主に対して行われた任意の買収提案直後に、ドイツ銀行に対して訴訟を提起した最初の原告であり、長年にわたって単独の原告でした。本和解により、ケルン高等裁判所において係属中の各訴訟は、終結することとなります。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、個人顧客、中小企業、事業法人、各国政府および機関投資家に対し、リテール・バンキング、プライベート・バンキング、コーポレート・バンキング、トランザクション・バンキング、融資、資産運用の商品およびサービスならびに焦点を絞った投資銀行業務を提供しています。ドイツ銀行は、欧州に深く根ざしつつグローバル・ネットワークを有するドイツ有数の銀行です。

将来の事象に関する記述

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、当行の考えおよび予想ならびにその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行の経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。したがって、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在ののものであって、当行はこれらの記述に関して、新しい情報または将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。したがって、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。

これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当行が収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当行の経営戦略の実施、当行のリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。

このような要因については、SEC に提出した当行の 2024 年 3 月 14 日付 Form 20-F の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該文書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。